

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## アイシーアイシーアイ・バンク・リミテッド（証券コード：ー）

### 【据置】

外貨建長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的
債券プログラム格付（優先債）	BBB+

### ■格付事由

- (1) インドの主要民間商業銀行の一つ。格付は、強固な事業基盤、高水準かつ安定的な収益力、および堅固な資本基盤により支えられている。他方、所在国の金融経済情勢や規制環境の影響を受けやすい金融機関の特性を反映し、格付はインドのソブリン格付（外貨建長期発行体格付：BBB+/安定的）の制約を受けている。中央銀行（RBI）の主導による国内銀行部門の不良資産計上の加速を背景に、与信費用が近年増加し収益が圧迫されてきた。しかし、同処理の進展や景況回復等を背景に不良資産の増加ペースは足元で鈍化している。この間、本業の純金利マージンは3%超の高水準で堅調に推移しているほか、自己資本比率も高水準に維持され、損失吸収のバッファは厚い。不良債権額の今後の推移には一定の留意を要するものの、与信費用を吸収するに足る健全な資本水準を今後も維持していくとみている。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (2) 18年9月末の連結総資産は11.4兆ルピー（約19兆円）で国内民間商業銀行では第2位、支店数は4,867で同第1位の規模を誇る。商業銀行業務では住宅ローン等の分野で国内民間商業銀行中トップシェアを有するほか、証券、生命保険、損害保険、資産運用などの分野でも子会社を通じて国内上位シェアを維持するなど、強固な事業基盤を基にユニバーサル・バンキングを展開している。総貸付残高は直近5年で年平均約13%と堅調に伸びている。また、資産の質が安定しているリテール向けへのポートフォリオ・リバランスが進められており、総貸付残高に占めるリテール向け貸付比率は18年9月末で57%に達した。
- (3) 近年、RBIの主導による国内銀行部門全体の不良資産計上の加速を背景に、当行の不良資産は増加基調にあった。しかし、迅速な不良資産区分と引当処理に加え、不良資産の償却および売却が18/3期までに既に大きく進捗したことや、景況改善を背景にした不良資産の正常区分へのランクアップなどもあり、不良資産の増加ペースは足元で鈍化している。貸倒引当金のこれまでの迅速な計上もあり、引当金控除後の不良資産比率（単体）は直近ピークの17年3月末4.89%から18年9月末で3.65%へと大きく低下した。不良資産の増加ペースは今後も引き続き抑制されるとみている。
- (4) 純金利マージンは3%超で安定的に推移しており、本業の収益率は高水準で維持されている。ROAは不良資産計上加速に伴う与信費用増加により近年圧迫されてきた。今後、不良資産の増加ペースの抑制を背景に、与信費用による収益圧迫が緩和されていくかどうかを注視していく。連結自己資本比率、Tier1比率は18年9月末でそれぞれ17.84%、15.38%と、内部留保の蓄積を背景に高水準にあり、損失吸収のバッファは厚い。資金調達面では、調達コストの低い当座・普通預金（CASA預金）の調達比率が近年4割近くまで引き上げられてきた一方、預貸比率の低下もあり借入調達比率が約2割に低下するなど、調達構造が改善している。

（担当）増田 篤・遠藤 進一

## ■ 格付対象

発行体：アイシーアイシーアイ・バンク・リミテッド (ICICI Bank Limited)

### 【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	BBB+	安定的

対象	発行限度額	発行予定期間	格付
債券プログラム (優先債)	500 億円	2018 年 6 月 18 日から 1 年間	BBB+

### 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2018 年 12 月 25 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：増田 篤  
主任格付アナリスト：増田 篤
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014 年 11 月 7 日)、「銀行等」(2014 年 5 月 8 日) として掲載している。
- 格付関係者：  
(発行体・債務者等) アイシーアイシーアイ・バンク・リミテッド (ICICI Bank Limited)
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度についての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■ 用語解説

**債券プログラム格付**：プログラム格付はプログラムに対する信用格付です。個別の債券の信用力はプログラム格付と同等と判断されるケースもありますが、クレジット・リンク債やエクステンジャブル債など、元利支払いが第三者の信用状況に依存する債券などではプログラム格付と異なると判断されることもあります。JCR では、発行体から依頼がある場合などを除き、通常、プログラムに基づき発行される個別の債券に対する信用格付は行っておりません。

## ■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル